

平成25年4月1日現在の世帯数と人口

(千種区 18.23K㎡)

学区名	世帯数	人 口			対前月増減	
		総数	男	女	世帯数	人口
1 千 種	4,853	8,320	4,180	4,140	44	61
2 千 石	3,319	6,587	3,332	3,255	△ 32	△ 53
3 内 山	4,798	7,044	3,790	3,254	27	41
4 大 和	3,110	6,478	3,221	3,257	△ 66	△ 166
5 上 野	7,239	15,527	7,536	7,991	△ 31	△ 57
6 高 見	6,264	12,377	5,965	6,412	5	△ 9
7 春 岡	6,167	10,129	5,385	4,744	0	6
8 田 代	11,059	21,246	10,171	11,075	△ 51	△ 192
9 東 山	9,566	18,581	9,067	9,514	△ 3	△ 57
10 見 付	4,212	8,149	4,086	4,063	△ 68	△ 124
11 星ヶ丘	3,365	6,641	2,959	3,682	△ 9	△ 63
12 自由ヶ丘	3,389	7,465	3,384	4,081	164	424
13 富士見台	6,357	15,674	7,229	8,445	△ 49	△ 163
14 宮 根	3,663	8,376	3,974	4,402	△ 17	△ 74
15 千代田橋	3,597	8,765	4,107	4,658	9	14
千 種 区 計	80,958	161,359	78,386	82,973	△ 77	△ 412
H24.4.1	81,088	160,537	77,950	82,587	△ 182	△ 685
対 前 年 比	△ 130	822	436	386	105	273
名 古 屋 市	1,025,668	2,262,176	1,113,408	1,148,768	1,050	△ 4,350
愛 知 県 (H25.3.1)	2,967,426	7,423,139	3,706,909	3,716,230	274	△ 1,823

前月中の増減内訳	自然動態			社会動態		
	出 生	死 亡	自然増減	転 入	転 出	社会増減
	106	120	△ 14	2,597	2,995	△ 398

【参考】

国勢調査千種区人口				これまでの最大人口	
昭和50年	168,861	平成 7年	148,847	173,598 (昭和50年2月1日)	
昭和55年	166,837	平成12年	148,537		
昭和60年	163,762	平成17年	153,132		
平成 2年	156,478	平成22年	160,015	これまでの最少人口	
				146,727 (平成11年4月1日)	

注1) 世帯数と人口は、平成22年国勢調査結果を基礎として、毎月の住民基本台帳人口と外国人登録人口の異動数を加減しています。

注2) 社会動態および対前月増減には、平成24年7月の法改正に伴う外国人人口の取扱変更による数値変動が含まれており、昨年との連続性はありません。

統計なごやweb版 <http://www.city.nagoya.jp/shisei/category/67-5-0-0-0-0-0-0-0.html>

平成24年千種区の人口動向の概況

新年度となり、身の回りで転入・転出があった方も多いと思います。そこで今回は千種区の人口動向を考える上で重要な人口増減の内訳を見ていきたいと思います。

平成24年10月現在の千種区の人口数は、前年同月比591人増の161,642人となっております、名古屋市

16区のうち5番目の人口規模です。

図1の人口増減数を見てみると、千種区の人口は平成11年以降増加に転じています。社会増減数（転入数－転出数）は人口増減数の変化にほぼ対応して変化しています。一方、自然増減数（出生数－死亡数）は年々ゆるやかに減少し、平成12年以降は0付近でほぼ横ばいの状態が続いています。従って、千種区の人口増減数は社会増減数の変化に大きく依存していると考えられます。

それでは、社会増減数の転入・転出について見ていきます。

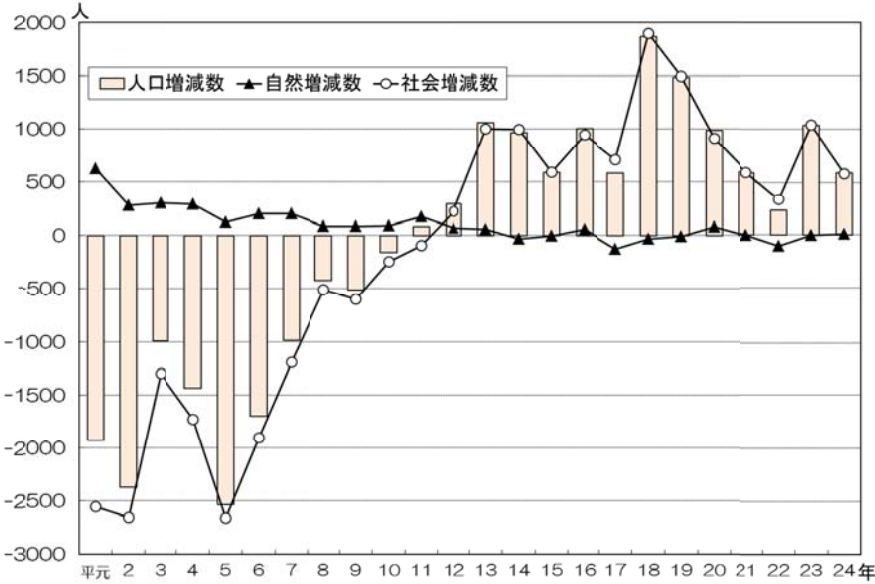


図1: 千種区の人口増減数、自然増減数および社会増減数の推移。
(各年前年10月～当年9月)

平成24年10月現在の千種区社会増減数は、584人の増加となっております(図2)、名古屋市の中では緑区について2番目に多くなっています。前年比で転出者が600人増加しましたが、転入者も対前年で143人増加したため、社会増減数は平成12年以降転入超過を維持しています。

また、人口移動数(転入数+転出数)は26,788人で、16区中で最大となっております。

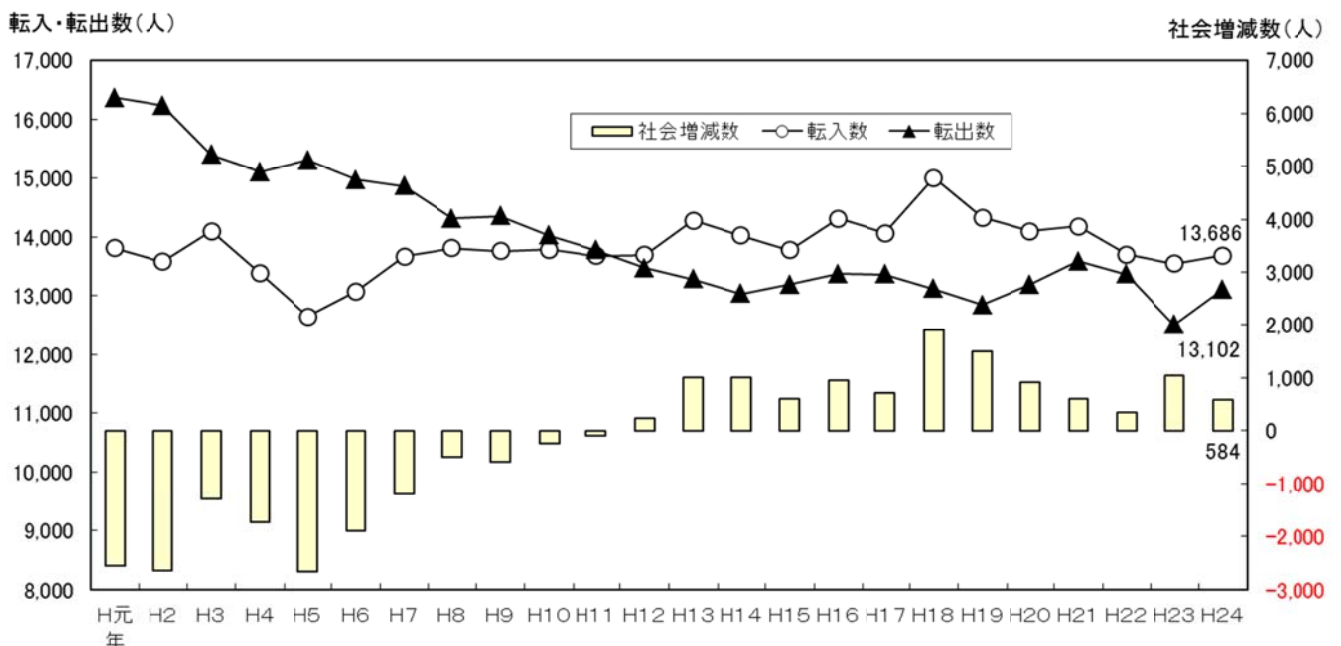


図2: 千種区の平成元年以降の社会増減数、市内区間移動および市外移動の推移。(各年前年10月～当年9月)